

あらかわ 青少年委員だより

第122号

平成26年3月13日

荒川区青少年委員連絡会

荒川区教育委員会事務局

社会教育課

登録(25)0046-2号

青少年委員だからできること

青少年委員にしかできないこと

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>



平成26年「成人の日のつどい」1月13日(月・祝)サンパール荒川にて



荒川区青少年委員連絡会

会長 中條 勉

早いもので青少年委員の任期である2年を無事終了することができました。また、今年度、青少年委員制度60周年の節目を迎え、記念式典、祝賀会を盛大に挙行できましたことも、皆様のお力添えがあつたからこそと感謝申し上げます。ありがとうございました。

本期も多くの青少年委員活動を行つてまいりましたが、自分としては体調を崩し4カ月間休養を余儀なくされたことが残念でなりません。そんな時でも副会長をはじめ委員、事務局が一丸となり、より質の高い活動を展開してくれました。特に周年行事に関しては、真剣に本音を述べ合うことで多少のぶつかり合いもありましたが、その甲斐あって堅いチームワークができ上がり、式典、祝賀会を成功させることができたのだと思います。休養中支えてくれた仲間たちに感謝をするとともに、この絆を今後の活動の糧として頑張らねばと思っています。

本期は周年行事があつたことで、これまでにも増してOBの皆様をはじめ、たくさんの方々に支えていただきました。今後もたくさんの人に出会い、その出会いを大切にして、来期も積極的な青少年委員活動を展開してまいります。青少年委員連絡会のさらなる飛躍のため、皆様の変わぬご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。

青少年委員制度60周年に思う

荒川区青少年委員連絡会

副会長 長野 一弘

「青少年委員制度60周年」を無事に終えることができたのは「現役青少年委員」の協力のおかげというのが、一番の感想です。

周年事業については、前回の記録等も少なく、「どのようなスキームで?」から始まる手さぐりの準備の1年でしたが、いろいろな人に相談しアドバイスいただき中で、どういうコンセプトであっても、「40人が同じ認識」で周年に携わることに一番留意したつもりでした。

祝賀会のアトラクションは「くす玉」だけで、他には、なにも余興を入れないという冒險的な試みでしたが、招待客の皆さまからいだいた「ゆっくり会話のできる祝賀会とは、時間の贅沢ですね!」という言葉が、一番嬉しかった言葉でした。



荒川区教育委員会事務局

社会教育課長 北村 美紀子

社会教育課長に着任してから、早いもので一年が過ぎようとしています。また、昨年は10年に一度の最大イベント「青少年委員制度60周年」の記念事業におきまして、青少年委員の皆様が一丸となり、式典の企画、記念誌の作成、招待者名簿の作成及び発送等、さまざまな準備にご活躍いただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。式典

当日は、歴代の青少年委員の皆様が一堂に会し、最後のセレモニーでは「くす玉」が割れず、心残りでしたが、それも思い出の一つとなりました。今後、70周年に向け、輝かしい歴史を刻んでいくとともに、荒川区の青少年の健全育成のために、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



5期10年・6期12年を迎えた5人の委員に質問しました

質問内容	①10年・12年間で思い出に残る出来事を一つあげて下さい。 ②10年・12年間活動を続けた感想を一言でお願いします。 ③今、10年・12年間を迎えて先輩たちにかけたいと思う言葉は? ④今、10年・12年間を迎えて後輩たちにかけたいと思う言葉は?	⑤活動を始めたころから10年・12年で自分が変わったと思うこと。 ⑥ご自身の10年・12年間の活動を四字熟語で表すと? ⑦感動的だった出来事(研修中) ⑧感動的だった出来事(実践部会中)	⑨10年・12年間活動を続けたことで一番よかったと思うこと。 ⑩今、戻るとしたらどの期に戻りたいですか? ⑪今までの活動の中でもう一度やりたいと思うことは何ですか? ⑫最後に、自由にメッセージをお願いします。
------	---	--	---

宮崎 守弘委員

- ①6期12年できた事
- ②お疲れさまでした。よくがんばりましたね!?
- ③ご指導ありがとうございました。
- ④変わらずに継続する事も、難しさがあります…。
- ⑤基本的なスタンスは変わっていないと思っていました。教育とは何か?
- ⑥楽忙迷熟

⑦10年目の自主研修

- ⑧子供の素晴らしい笑顔を見れた事
- ⑨12年続ける事ができた事
- ⑩今の期(6期)
- ⑪出来るものなら全て
- ⑫荒川区青少年委員連絡会という素晴らしいグループの、活動の継続と発展を期待するとともに、皆様に感謝の気持ちを述べさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

渡辺 勝子委員

- ①一つ一つの活動すべてが心に残る思い出です。
- ②感慨無量
- ③10年続けることができました。皆さんの優しさと温かさに感謝しています。
- ④ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために。
- ⑤気持ちが若くなりました。
- ⑥切磋琢磨
- ⑦初めての宿泊研修でスタンツのレベルの高さに感動!

でも罰ゲームは最悪!

- ⑧「さくら教室」の受講生の一生懸命がんばる姿。「成人の日のつどい」実行委員がボランティアで参加してくれたこと。
- ⑨決して出会えなかったと思う、たくさんの人たちと出会えたこと。
- ⑩戻りたくないけど、一生懸命だった2期かな?
- ⑪宿泊研修(あまり参加できなかったので)
- ⑫家族の理解と協力に感謝、そしてみなさんの支えに感謝です。10年間ありがとうございました!!

田口 美代子委員

- ①チャレンジキャンプ
- ②楽しかった。
- ③時代は変わって行きます。
- ④楽しんで活動してください。
- ⑤小学生に対して、我が子から孫を見る目になった。
- ⑥臨機応変
- ⑦上野～谷中～日暮里のウォークラリー
- ⑧チャレンジ共和国の班付

⑨成人の日に、大人になり成長した子を見た事

- ⑩3期
- ⑪清里の研修
- ⑫新しい事業を始めるとき、意見を出し合って準備していく事を楽しんで、いい物を作り上げてください。こども達の笑顔を見ると達成感がわいてきます。仲間と親しくなれます。
- 10年間お世話になりました。一緒に活動して、たくさん仲間もできました。卒業しても、青少年の仲間を大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。

岩上 春枝委員

- ①清里の宿泊研修会にむけての実地踏査…(よく歩きました。)
- ②たくさんの人と出会い、いろいろなことを学びました。とてもよかったです。
- ③いろいろなことを教えていただきました。ありがとうございました。
- ④楽しみながら、活動していってください。
- ⑤全体を見る余裕…
- ⑥粉骨碎身

⑦清里のキャンプファイヤー、あと燻製作り(いろいろな味の楽しさ)

- ⑧「さくら教室」の受講生との出会いです。(受講生のやさしさ、一生懸命さを学びました。)
- ⑨いろいろな経験ができたこと
- ⑩1期(もちろん年齢でね。)
- ⑪時間をかけたウォークラリー
- ⑫皆様、お疲れ様でした。まずは自分自身が楽しく…これからも荒川区の青少年のためにご活躍いただきたいと思います。

小林 れい子委員

- ①一輪車大会(開会式後中止になった回第19回!?)
- ②頑張りました。
- ③ありがとうございました
- ④青少年活動を楽しんでください
- ⑤人見知りをしなくなった
- ⑥喜怒哀楽
- ⑦2期目の城北ブロック研修会
- ⑧初めてのチャレンジキャンプ

⑨自分の視野が広がりました

- ⑩3期目
- ⑪小伝馬町から科学未来館までのウォークラリー
- ⑫青少年委員としてではなく、個人として気の合う仲間で楽しみを見つけ、実現をしていくことが出来たことが嬉しかった。また、10年間一緒に活動してきた3人や途中で退任したメンバーとの交流は、今後も続けて行きたいです。
- 10年間ありがとうございました。

南千住ブロック

南千住ブロック長 八木 敦子

私たち、「地域や町の人たちがいつでも明るく挨拶を交わすことのできる人づくり」を柱に各委員が地区委員会、町会、自治会、クラブなどにおいてがんばって活動しています。

また、今年度はブロック行事として「ロゲイニング大会」「ドロダンゴ教室」を立ち上げました。両行事とも多くのお子さんに参加していただき、楽しい活動になりました。これをさらに大きな輪に広げていき、充実したブロック活動に繋げたいと思います。

地域の中で、異なる学年の子どもたちがブロック事業を通して知り合い、同じ時間を共有し楽しむことで、交流してほしいという願いのもとで活動を行つてきました。

今年度は、荒川・町屋ブロック合同で「あらゴンクエスト in 四中」と題して校内ゲームラリーを行いました。中学生

や高校生のボランティアが小学生のリーダーとなり、まとめ役としてしっかりと活動してくれたことが大きな成果だったと思います。

町屋ブロック

町屋ブロック長 今井 文江

町屋ブロックの活動には大きく二つの柱があります。一つは、「町屋こどもまつり」等への参加を通して、親子のコミュニケーションを促し、また環境にも優しい遊びの紹介です。

もう一つは荒川ブロックとの合同ブロック事業。

今年度は「あらまちフェスティ」と題し、地域の学校を使つたゲームラリーを行いました。委員それぞれの日ごろの研修が生きる企画です。地域の中学生ボランティアや高校生以上のシニアボランティアも含め、数少ない異年齢交流の場としてもさらに充実を図りたいと考えています。

荒川ブロック

荒川ブロック長 江口 陽子



学校対抗ピロポロ大会等、回を重ねるごとに大きな盛り上がりを感じることができます。また、O Bとの懇親会を開き先輩方との交流も図りました。

今後のさらなる活躍を期待して今期を終えたいと思います。重ねて、ありがとうございます。

日暮里ブロック

日暮里ブロック長 児玉 はるみ



「私たちの学校」ではなく「隣りの学校」で、「知り合い同士」ではなく「初対面の人」との遊びの楽しさを体験してほしいと、今期も日暮里わくわくランドを実施しました。親子で作つて遊ぶを軸にした内容を考えてきました。今後も日暮里の子ども達が遊びを楽しむだけでなく、自分も他人も大切にできる場として、また、決まりは守ろうとする場にもなるような内容を考え、継続させていきたいと考えています。地域の活動にも積極的に関わる青少年委員でもあります。

尾久ブロック

尾久ブロック長 宮崎 守弘

尾久ブロックでは、この2年間を無事乗り切ることができました。ひとえに各委員の協力のもとになし得たことだと思います。皆様お疲れ様でした、そしてありがとうございました。

活動内容については、尾久っ子ランニング、小



総務部会

総務部長 真塩 勝

誰もが感じる事だろうけど2年1期はあつとい
う間に過ぎていきます。

今期は、みんなでアイデアを出し、デザインを
した連絡会ののぼり旗を制作しました。各活動に
有意義に使っていただいて大変よろこんでいます。
この2年間、部員みんなのおかげで無事に乗り
切ることができました。感謝。



校庭及び施設利用部会

校庭及び施設利用部会 松尾 美智代

歩くことで、知識や技
能を向上することだけで
なく、観察力や団結力を
養うことができたと思いま
す。

部長として、人をま
とめること、具体化して
進めていくことが大変で
したが、子どもたちの笑
顔に支えられた2年でし
た。



調査研修部会部長 吉友 安世

調査・研修部会は子どもたちに楽しく遊んでも
らえるよう、新しい取り組みを調査し、研修とし
て行いました。

今期は、野外活動に活かせるようコマ図作りの
研修を行いました。実際に班を作り、確認しなが
れました。



今期は「校庭利用の促進と活性化」に重点を置き、
平成23年度より実施しています「みんなde遊び！」
（出張校庭プレーパーク）を引き続き開催しま
した。小学校の校庭で子どもたちと触れ合い、と
もに楽しみ、「遊びのサポートをしてまいりました。
校庭利用に携わるP
TAの方々から「こん
なに楽しいなら、もつ
と多くの子どもたちに
い」との感想がありま
した。この言葉は「校
庭利用の促進と活性化」
に繋がることでしょう。
また、この事業を通し

て【子どもたちの居場所作り】が提供できたので
はと感じる2年間でした。

青年団体育成部会

青年団体育成部長 初見 昇

皆様と共に楽しく携わったさくら教室・成人の
日のつどいは、さまざまな環境に育まれ成長する
子どもたちの未来をつなぐために行います。そし
て、そこにある大人こそが、最大の教育環境の一
部だと回を重ねる度に実感しました。社会の問題
が投影され、揺れる子どもたちに対し、自己スキ
ルの向上に努める一方、上手じやないが味のある
大人として心のぬくもりと豊かな精神性で接した
いと思い、この
2年間活動して
まいりました。

雨上がりに現

れる虹は、空の
色と重なり、心

に残るのだと思
います。七色の
架け橋とともに
描いた2年間に
心から感謝いた
します。



少年団体育成部会

平成25年度活動報告

広報部員 一言

少年団体育成部長 大根田 教順

少年部長を務めた2年間、なんといつても印象に残っているのがチャレンジ共和国です。

ここ数年、毎年200名を越える申し込みがあり、青少年委員なしでは企画できないイベントになりました。

平気な顔をしていましたが、実は4月の定例会後に出席確認の結果を聞くのが2年間ドキドキでした(笑)

そんな中、少年部会はもとより他部会の方々も快くお手伝いいただき、15の班に、常に班付がいる状態を作つていただき、さらに10数人の児童を班付として一人で見ると、いう離れ業をしていました。

回を追うごとに生き生きとしていく児童たちを見ていると「さすがは青少年委員だな」と実感するとともに、毎年希望者が増えていることにも喜びを感じた2年間でした。

他にも、チャレンジキャンプや子ども会大会等、2年間通じて皆様には本当にお世話になりました。



4月14日(日) さくら教室[開講式]

4月20日(土) 荒川区少年団体指導者連絡会総会

4月29日(月祝) 川の手荒川まつり

5月12日(日)~6月30日(日)

チャレンジ共和国(全4回)

5月26日(日) さくら教室[校外学習](高尾山)

6月1日(土)~2日(日)

宿泊研修会清里高原ロッジ・少年自然の家)

6月11日(火) 校庭利用実施委員会連絡会

6月15日(土) 東京都青少年委員連合会定期総会

7月7日(日) みんなde遊ぼう!出張校庭プレー・パーク

8月9日(金)~11日(日)

チャレンジキャンプ(静岡市立浜石野外センター)

8月29日(木)~12月16日(月)

成人の日のつどい実行委員会(全10回)

10月5日(土) 青少年委員制度60周年記念式典・祝賀会

10月26日(土) 城北ブロック研修会

11月17日(日) さくら教室[4区合同レクリエーション大会]
(文京区総合体育館)

11月24日(日) あらかわ子ども会大会

12月15日(日) さくら教室[お楽しみ会]

1月13日(月祝) 成人の日のつどい

2月16日(日) 東京都青少年委員大会(練馬文化センター)

2月23日(日) 日帰り研修会

3月2日(日) さくら教室[閉講式]

3月20日(木) 退任式

*「青少年委員だより」発行(年2回)
※ホームページ更新(年4回)
※スタッフブログの通年管理
○定例会(8月を除く毎月)
○各部会・各プロック会隨時

2年間広報部員として「青少年委員だより」「ホームページ」を作成に関わったことは私にとって貴重な経験になりました。青少年委員がどんな活動をしているかを見ることができたのですから!ありがとうございました!

(八木 敦子)

今年度は大型台風の接近等で、中止になつた事業等も多くありました。広報部員としても、来年度が穩やかな1年であることを願います。

(高木 由美子)

お疲れ様でした。

(大畑 高男)

2年間の活動振り返って、人生初めての広報部長を引き受け、活動方法の変更等を含め、「だより」の内容の充実、そして「誰でもできる広報部会」を目標に、活動していました。改めて広報の奥深さ、伝えることの難しさを痛感しました。つたない部長を支えて下さった皆さんに、心から感謝です。

(岡野 邦雄)

2年間の広報の活動を通して、たくさんのこと学ばせていただきました。決められた字数以内で文章を書くことの難しさ、写真を撮るタイミング他々、迷惑ばかりかけていた私にやさしく指導してくださいました。決められた字数内で撮ったが、あつという間の2年間でさりありがとうございました。(岡安 文子)

(小林 れい子)

これまでいろいろな役員や委員を経験しましたが、人生初めての「広報」でした。この2年間、広報の皆さんと一緒にいろいろ学ぶことができました。2年間ありがとうございました。本当にありがとうございました。

(井澤 美由紀)

振り返ってみれば、HPやブログを時々見るだけで、広報部員としては部会にもあまり出席できず、幽霊部員状態でした。部員が皆さん2年間ありがとうございました。(石浜 正男)

(小玉 尊)

初めての広報の担当になりました。初めてのことなので、私はできることと不安でしたが、この2年間、ホームページ作りなど、パソコンでの作業もあり大変でしたが、部員の皆さんと一緒にいろいろ学ぶことができました。2年間ありがとうございました。

(井澤 恭子)

6年間いろいろな行事に参加し、そのたびにいろいろな思いを感じてきました。そのなかで、この2年間は広報として活動にたずさわりました。記事にすること、その行事の意義や参加している子どもの気持ちの伝わってきた。それから、二度感動を楽しめました。

(平井 敦)

職務多忙なため、あまり広報の仕事に携われませんでした。申し訳ございませんが、青少年委員の活動を広く区民の皆さんに知っていたらしくことは、広報の仕事が大変重りと楽しかった2年間でした。(加藤 正和)